

## 岩手県山田町ゾンタハウスの

### 子どもたちとスタッフの話を聞いて

## 東日本大震災子ども支援を考えませんか

東日本大震災後3年10か月がすぎた今、子どもたちの故郷である被災地はかさ上げによって以前の姿を消し、ブルドーザーや重機の騒音の中で暮らしを余儀なくされる毎日です。今こそ、この復興がどこに向かうのか、何をどのようにつくり替えようとしているのかを子どもたちは一緒に実感しなければならぬ時期です。一刻も猶予のない子どもたちは何を感じ、自分の歩みをどのように続けているのでしょうか。そうした子どもたちに今後、私たちは何を支援しなければならぬのでしょうか。

私たちは、子どもの声を大切に、被災地域の復興に子どもの声を反映させるためのあり方を、2011年から被災地の子どもたちと一緒に考え進めてきました。子どもたちは、東京の同世代や大学生、おとなたちに語ることで、新しい自分を見つけていきます。

今年は被災地の子どもたちが、全員で支援をしてきた大学生と一緒に語ります。

児童養護施設福音寮の職員や子どもたちも、2013年夏には被災地支援に行き、震災を体験してきました。被災地からの一緒に報告を聞きながら、これからの支援を一緒に考えていきたいと思えます。

**【日時】2015年1月10日(土)10時～12時**

**【場所】福音寮ホール**

10時 はじめのことは：福音寮施設長と森田明美教授

10時15分～11時：A 東洋大学社会学部学生によるゾンタハウス支援の報告

B 岩手県山田町の被災と復興報告

1：子どもたちによる

子どもたちが作った山田町CMの紹介と復興(中高生たち)

2：ゾンタハウススタッフによる山田町の復興

岩手県山田町の震災と復興の紹介(舟田春樹さん)

11時～12時

山田町ゾンタハウスの子どもたちとスタッフ、サポートの大学生、福音寮や地域の方々がグループに分かれて話を聞いて意見交換をします。

**【主催】NPO子どもの権利条約総合研究所**

**【問い合わせ】東洋大学白山校舎 森田明美研究室**

TEL・FAX 03-3945-7481 E-mail :morita@toyo.jp

**【後援】社会福祉法人福音寮**